



会期前2回目実施競技 9/26(木)～29(日)の試合結果

剣道競技、少年女子が見事優勝！少年男子が準優勝！成年女子が4位と大健闘！！

神崎市にて開催された剣道競技。少年女子は準決勝で佐賀県と対戦した。試合は代表戦へ持ち込まれる展開となり、勝負は大将である橋本陽菜選手（中村学園女子高校）に託された。しかし、代表戦でも勝負はつかず延長へ。お互い一步も引かない展開の中、橋本選手の正確な打突で佐賀県に競り勝った。

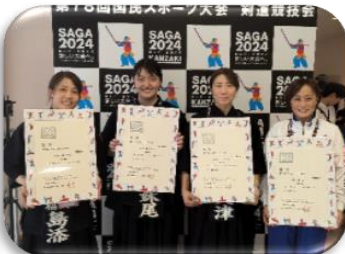
続く決勝も1勝1敗で勝負は大将戦へ。ここでも勝負は橋本選手に託され、落ち着いた試合運びで優勝を手繰り寄せた。橋本選手（少年女子で最優秀選手賞を受賞）は「国スポは高校最後の大会であるため、最後まで悔いのない試合をすることを心掛けていた。優勝できて嬉しい。」と喜びを語った。※少年女子の優勝はとびうめ国体（H2）以来

少年男子は準決勝まで順当に勝ち上がり、決勝で佐賀県と対戦した。なかなか有効打突が決まらない状況の中、本県選手は最後まで勝負を諦めずに攻め続けた。惜しくも2-3で試合には敗れたものの、本県の最後まで攻め続けた姿に、会場全体から、称賛の拍手が送られた。試合後、関慶太郎選手（福岡大学附属大濠高校）は「大会では、チーム全員で勝ちを目指そうと話してきた。実際、決勝まで勝ち上がり、佐賀県と対戦でき本当にいい経験ができた。」とチーム福岡として大会に挑み、実現できたことを誇らしく語った。

成年女子は、準決勝で佐賀県と対戦した。先鋒の妹尾舞香選手（福岡県警察）が引き分けたが、開催県の勢いを止めることができず、試合には敗れる結果となった。続く3位決定戦では、接戦の末、惜しくも敗れ4位となった。試合後、妹尾選手は「次の国スポに向けて課題となる部分を練習し、もっと強くなりたい。」と次回に向けての意気込みを語った。

成年男子は、2回戦で京都府と対戦し、大将戦まで持ち込まれる接戦となったが、惜しくも敗れる結果となった。

なお剣道競技は、少年女子及び成年女子の活躍の結果、**競技別皇后杯（女子総合成績）で1位**を獲得した。



写真左から、少年女子・少年男子・成年女子・成年男子

クレー射撃競技、令和元年度茨城大会以来の競技開催！

R1 茨城大会以来の開催（佐賀市）となったクレー射撃競技。第1ラウンドにおいて本県代表の尾上隆光選手（尾上歯科医院）が全25発を的中させ、好調な滑り出しを見せたが、その後は的中率が伸びず、本県としてはトラップ28位、スキート34位という成績となった。

クレー射撃競技は次回、令和8年度の青森大会で開催され、ルール改正として、選手4名のうち1名以上の女性選手を入れることが必須になる可能性が高いことから、県クレー射撃協会の石井事務局長は「女性選手の発掘・育成が勝敗のカギを握ることになりそうだ。」と話した。

～クレー射撃競技の成績～

【本県成績】総合14位 トラップ28位 スキート34位

【トラップ個人成績】金子哲也（金子畳ワマ店工房哲）44位 尾上隆光（尾上歯科医院）51位

【スキート個人成績】武丸正憲（有）武丸工務店）66位 吉田渉（玉名銃砲火薬店）73位



金子選手



尾上選手



武丸選手



吉田選手